

次ページへ続く

Continued on next page...

古筆名葉集序説——鬺字・索引——

山岳高きが故に貴からざるが如く、典籍また大なるを以て善と為さず。瑤瑛一類なほ森羅万象を映すに似て、断簡零墨よく千古の文華を伝ふ。これ古筆切の珍重せらるる所以。加之筆跡の妙・料紙の美、百世嘆賞して遂に飽かざるものなり。

輓今古筆手鑑複製相継ぎ、古筆切鬺字・論考また陸續、斯学先達(二)の功あつて、国文学領域に於ける古筆研究も漸く盛りをむかふ。洵に慶とすべきが如し。

しかはあれどもその関連分野未だ拓かれざるもの多く、該古筆名葉集実にその一。蓋し現今の眼を以てすれば、近世鑑定家の弁、全くは信を置き難きものなればなり。言たまたま名葉集に及ぶや、曰く杜撰、曰く虚誕、非実証的にして無体系と見做すを通例(三)とす。

これ洵に一理ありと雖も、また一面観たるを免れず。あるいは妄なりとせんか、あるいは雑なりとせんか、なほ以て往時を偲ぶべき良き媒にして、しかも幾許かの真実を宿したること疑ひなし。

よつてここに古筆名葉集(文化元年 陶々居編(四))を鬺字、試みに索引を付して江湖諸賢の高覧に供す。仮令貧しくとも斯学の一助たらんことを希ひ、なほ博雅君子の垂教を乞ふと云爾。

註一 国文学領域における近年の古筆研究については、田中登「私家集古筆切覚書——中世期書写のものを中心に——」(帝塚山短期大学紀要人文社会科学編一九号)の簡かつ要を得た記述を参照されたい。

二 この風潮のうちにあつて、田中塊堂「昭和古筆名葉集」(昭和二三年 鳩居堂)は、該書の実用的価値をよく認識し、新撰古筆名葉集(註三参照)を基礎としてなお新資料の増補を行なつたもの。ただし、古筆愛好家を対象とし、また項目・記述を増訂しているために、至便ではあつても研究資料としては使いにくい点がある。

三 飯島春敬「古筆大手鑑」(昭和五五年 東京堂)解説中に影印がある。今回の鬺字には同内容の国文学研究資料館蔵本(ヤ8-60)を用いた。なおこの他に、新撰古筆名葉集(明治一八年 古筆了仲編。内容は安政五年の増補古筆名葉集と同じ)の影印(昭和四六年 笠間書院)もある。

概要

古筆名葉集は、(イ)伝承筆者名ごとに、(ロ)古筆切を分類掲出、(ハ)各々の切名称の下に簡略な解説を付したものであり、大体手鑑貼り込み順に伝

承筆者を並べている。本稿もまた全体を三部構成とし、(イ) (イ)に対応せしめてある。

すなわち第一本文篇は古筆名葉集を齣字、利用の便を考えて五十音順に整理したもの、ただし底本へ復帰できるよう配慮してある。第二部以下の索引に対する本文であると共に、おのづから伝承筆者名索引の役割もはたす。(イ)

第二部切名称索引は、人名ごとに掲げられた全項目、すなわち切名とそれに準じうるもの——「四半」「六半」「仮名文」の如き——の検索を目的として編まれた。(ロ)

第三部書名・事項索引は、各切名称の下に記された解説文中より典籍名のすべてと、重要と思われる事項若干とを検索できるようにしてある。事項は試行的に採録してみたもので、やや恣意に傾いたところがある。

凡 例

第一本文篇(人名)

一、見出しは人名のみとし、底本に存する姓・称号等は(一)に入れ、見出しの人名の位置とするところは―で示した。なお数字は原本における配列順序である。したがって、「俊成(五条三位―卿 四―)」「とあれば原本では「五条三位俊成卿」となっており、かつ四―番目に存することになる。

一、底本における人名表記が一般的でない場合これをカラ見出しとし、

新たに人名項目を立てた。人名の下に(一)で記されているのが底本表記である。「聖廟↓道真」、「道真(聖廟七九)」の如くである。

一、底本に「同」「同上」等とある場合、適宜該当する字句を代置したところもある。

一、人名は音読を原則とし、五十音順に配列した。ただし天皇名及び女性名は通行のものによる。

一、異体字・略字等はすべて通行のものに改めた。なお底本に存する「」はそのまま残し、さらに適宜一字あきの句切りを置いて読みやすくした。

第二部切名称索引

一、切名称は、春名好重「古筆大辞典」(昭和五四年 淡交社)を主たる典拠として五十音順に配列した。

一、切名称の下に付された解説の文中にも、切名に相当するものが存する場合、これを(一)に入れて示した。

第三部書名・事項索引

一、書名は通行のものにより、五十音順に配列した。

一、解説文にでなく切名称中に書名が見える場合、これを(一)に入れて示した。

一、事項として料紙の特徴あるもの、界線の特異なもの、その他書き入れ等を適宜採録した。

〔付記〕

古筆名葉集諸伝本には、書誌的・内容的に種々問題が存する。関連資料の調査を俟って将来稿を改め報告するつもりである。

(第一室 伊井春樹 新藤協三 高田信敬)

第一部 本文篇

あ

阿仏(二二七)

鯉之下絵 四半切

四半切 歌二行

い

為家(冷泉殿——卿 一四八)

北野切 雲紙 四半 古今 歌二行書

姫路切 小四半 金ギン切箔アリ 歌二行書

箔切 四半 金ギン村雲形 歌合 歌二行書

外山切 雲紙 六半 銀砂子アリ

巻物切 同 切箔金ギン村雲形アリ

伊経(世尊寺殿——卿 六〇)

巻物切 万葉 サラサ地

経切 唐紙地

巻物切 朗詠

伊行(世尊寺殿——卿 五九)

萬葉切 四半 飛雲

巻物切 紙藍ミル茶焼唐紙ニアリ 真名行中歌一首二行書

為氏(二条家——卿 一四九)

因幡切 四半 焼唐紙香色 古今集

尾張切 源氏

為重(二条家——卿 一五二)

道也切 四半 新古今 歌二行書

為世(二条家——卿 一五〇)

久巴切 四半 雲紙 古今集

為相(冷泉家——卿 一五三)

愛宕切 大六半 雲紙

大津切 四半 古今集

一休(——和尚 一一一)

須磨切 雲紙下画 源氏詞書

聯芳集切 四半 細字 ハリ切ト云

色紙

仮名文

杉原紙 文字行書中字

賞猷(鳥羽)——僧正 一〇四)

四半切 行書

一遍(上人) 九八)

卷物切 鳥子紙 中字カナ交リ エンギ切

雅経(飛鳥井殿)——卿 四四)

四半 古今集 四方墨卦紙・浅黄・色・萌黄 二行書

中四半 彩色五色 下画アリ 朗詠

卷物切 中字詩歌

伊房(世尊寺殿)——卿 五七)

縁起切 漢紙砂子・香色

花山院(四)

杉原紙 カナ文

為明(三条家)——卿 一五二)

曆切 杉原紙 細字上ニ集ノ名中ニ歌下ニ作者ノ名ヲ書

か

家長(源)——朝臣 四九)

小四半 砂子紙縁起

解脱(上人) 一一五)

卷物切 朗詠

万葉切 六半

龜山院(一〇)

覺性法親王(一五五)

卷物切 鳥ノ子紙金銀泥画砂子 歌一首三行書

炭団切

同 歌合 白紙 歌三行書

雲紙 歌一首二行書

覚明(大夫坊)——一〇三)

色紙 堅長シ 歌チラス書 唐紙竜形

家隆(正三位—卿 四三)

升底切 六半 金葉集 歌三行書 五合升ノ大サ也

中院切 四半 豎長シ 歌二行書 千載集

祐海切 卷物切 紙杉原 新古今集

朗詠切 卷物

大六半 古今集

家良(衣笠内大臣—公 四八)

卷物切 百首自詠 歌二行書 有名 詠草ノ切也 此外ニ類筆ナシ

元録(4) 年中初テ出ル

貫之(紀—朝臣 二七)

高野切 キラ、地白紙 歌二行書

古今切 白紙

興風集切 紙薄萌黄・浅黄・香色・白

雲紙砂子地切

亭子院歌合切 歌二行書 紙ニ青紫交リ形所々ニアリ

寸松庵色紙 唐紙地 歌チラシ書

き

四半切 玉葉集 二行書

義経(源—朝臣 一三〇)

文

基俊(藤原—朝臣 三六)

藻ノ下画 銀砂子地 新撰朗詠

卷物切 香紙卦引アリ 朗詠集 歌二行

義政(慈照院—公 一三八)

卷物切 朗詠集 雲紙泥画

色紙 雲ノ下画 歌二行書 題アリ

吉備公↓真備

義貞(新田—朝臣 一三六)

四半切 歌二行書 島山牛庵始テ証ス 永正年中密宗ノ僧奥書アル

歌書也

暁円(一一六)

四半切 白界四方ニアリ

徽安門院(一一八)

教家(二条殿——公 六三)

中四半 キラ地

記録切 曆日也 白紙墨卦

堯孝(和歌所法印—— 七三)

仏光寺切 卷物 新統古今 歌二行書

凝然 (九四)

同上↓仁海の項参照

魚養 (八一)

香紙墨字経

け

慶雲(——法師 七〇)

卷物切 雲紙

歌合切 紙砂子入 歌一行書

卷物切 朗詠

恵心(——僧都 九〇)

宿紙 聖教ノ切 草書

玄恵(北畠——法印 一四二)

卷物切 界アリ 行書

兼行(源——朝臣 三二)

経切 紺紙金字 上下二天人雲ノ泥画アリ

真名切 中字白紙

兼好(——法師 六七)

タハコト切 卷物 春画ノ詞書也ト云

越前切 雲紙 四半 伊勢物語

熟田切 或江戸切 古今 歌一行書

兼実(月輪殿——公 二二)

縁起卷物切 紙杉原 仮名交リ

六半 泥画砂子アリ

経切 金界草花下画墨書

顕昭(大秦——法師 五三)

六半

同 源氏系図注 建仁寺切ト云

顕輔(左京大夫——卿 三七)

鶉切 大四半 白キラ 粟ニウツラノ画アリ 其外人形草木モアリ

古今集 二行書

四半

兼良(一条禅閣——公 二六)

色紙 朱印アリ

二

篁 (小野 八〇)

黄紙墨字経

行尹(世尊寺殿——卿 六二)

縁起切 雲紙金界 カナ交リ

巻物切 中行字 紙ノ上下砂子アリ

四半切 新勅撰 歌二行書

興教大師 (八七)

香紙墨字経 朱点アリ

行子(一一九)

黄紙墨字経 文字細キ物也

光俊(葉室——朝臣 四七)

龍形切 ラウシ紙 中四半

六半 紙ノ上スミノ方ニ雲ノヤウニ形アリ 粽切ト云

四半

行成(世尊寺殿——卿 三〇)

端白切 四半 古今集 定家卿加筆アリ 浅黄胡粉地 紙四方スレ

テ白クナルユヘニ云

針切 四半 カナ文字細キユヘニ云

四半切 漢砂子地・香色同・萌黄地 古今集

色紙 白鳥ノ子紙・雲紙 歌チラシ書

詩文巻物切 雲紙或ハ五色紙 字行草

経切 香色・或ハ雲紙墨字

萬葉切 柿色紙金砂子 歌真名一行カナニ行書

四半切 雲紙 歌二行書

行尊 (——僧正 八九)

四半切 白紙行書

公任(四条大納言——卿 三三)

寄紙 大色紙ノ大サニ色々ノ紙ヲツギ合タル也

雀ノ下絵 四半 胡粉地鳥虫草水藻ノ下画アリ

大色紙 砂子或ハ五色ノ紙ヲ色々ニツキ合ス 形ハ色紙ニテ歌書切

也

小大君(一二二)

萬葉切 卷物 アサギ色紙 墨界アリ カナノ歌界一行ノ中ニ行二

書ス

漢紙地 四半切

同 豎長シ 古今 歌二行

同 黄色ノ紙 紺青ニテモヤウアリ

経切 布目唐紙

経切 紙銀砂子

朗詠集切 紙色々

後嵯峨院(八)

四半切 香色紙

白紙墨字 願文 文字ノ上ニ朱ニテ手ノ形アリ

色紙 漢紙

行能(世尊寺殿)脚 六一

越部尼↓俊成卿女

卷物切 朗詠 砂子下画雲紙

縁起切

後白河院(六)

経切 白鳥ノ子紙墨書

香色紙 金字経

白紙 同上

弘法大師 (八二)

砂子紙 墨書

東寺切 草書 卷物切 コロ切ト云 紙キズキ

高野切 同杉原紙

後醍醐天皇(一四)

吉野切 四半 皆恋歌也 一首チラス書

光明皇后(二)

鳥之下絵 香色紙金ノ卦引小鳥小草泥画アリ 字墨書

砂子地紙 香色・浅黄・白・墨卦墨書

四半切

記録切

紺紙 金泥界

後鳥羽院(七)

懷紙

仮名文

色紙歌仙絵 歌チラシ書

記録切 鳥ノ子紙キラ、地

経切 香色紙墨字 上二天蓋下二蓮坐アリ

四半切 新古今集 歌一首二行書

後二条院 (一一二)

六半切 八雲御抄

巻物切 玉葉集

後深草院 (九)

文 真名・カナ

護良親王 (一八)

文

さ

嵯峨天皇 (三)

紫地紙金字 所々弘法大師加筆アリ 梵字也

紺紙金字 每字ニ銀泥ニテ宝塔アリ 一行十三字

佐理(參議)——卿 (二九)

通シ切 四半 香薄色紙 アラキ布目アリ 歌一首二行書 古今集

筋切 四半 飛雲漢砂子紙ノ豎ニ墨ニテ十文字ニ界アリ

巻物切 墨字草書 紙五色・焼唐紙・絹地

四半切 古今集

し

慈覚大師 (八五)

香紙墨字経

慈恵大師 (八四)

紺紙金字経

師賢(尹大納言)——卿 六四)

巻物切 源氏ノ歌 一行書

同 歌一行書 統後拾遺

慈眼大師 (一一七)

巻物半切 行法次第

慈鎮(——和尚 五二)

貫之集切 四半 烏丸殿切ト云

詠草切 杉原

六半 源氏ノ歌

中色紙 白鳥ノ子紙

四半

巻物切 砂子村雲金箔紙墨卦 カナ交リ 法語也

実兼(西園寺殿——公 二二五)

自詠巻物切 歌二行書

実朝(右大臣——公 一三二)

文

色紙

寂然(——法師 六六)

小四半 砂子紙 歌二行書 定家卿加筆アリ

四半 後拾遺 歌二行書

寂蓮(——法師 五五)

右衛門切 中四半 四方墨卦 歌二行書 古今集 木下右エ門ヨリ

出ル

大坂切 朗詠巻物

大六半 カラ紙砂子下画

巻物切 歌合 砂子紙

重源(俊乗坊——一〇二)

杉原紙 法事役人付 人名八他筆

香紙経切

秀能(藤原——五一)

四半 古今集

順(源——三二)

萬葉切 中四半 泥画鳥草アリ 或ハ二枚ツギ合セ 歌一首ハ真名

一首ハ仮名

俊寛(——僧都 一四三)

四半切 古今集 歌一行書 朱点アリ

俊苅(——国師 九二)

香紙 唐砂子黄色卦

白紙 細字

俊成(五条三位——卿 四二)

住吉切 巻物切 鳥子紙 歌二行書

久安切 同 紙杉原 歌二行書

補任切 四半 真名

御家切 古今 四半 上二注ヲ書 定家卿加筆モアリ

日野切 千載集 四半

了佐切 古今 四半 豎長シ

歌仙画賛 豎長シ 横広二通アリ

経切 村雲金銀泥画墨字

四半

俊成卿女(越部尼 一二四)

四半切 古今

俊忠(御子左—卿 四〇)

卷物切 歌合 只紙墨卦

四半切 同 杉原紙

俊頼(源—朝臣 三五)

東大寺切 四半 白唐紙墨界カナ交リ 歌書ニアラス 縁起

四半 白カラ紙地 歌二行書

大色紙 カラ紙地 チラシ書

中色紙 漢砂子 チラシ書

四半 白カラ紙キラ地 万葉 真名一行カナ二行書

同 紙アサキ 白 古今集

経切 白カラ紙墨界

卷物切 中字 カラ紙胡粉地

常縁(東下野守— 一四二)

建仁寺切 雲紙 拾遺 歌一行書 四半

嘲哢集切 四半 家集也

肖柏(牡丹花— 一四五)

自詠四半切 名所ノ歌也

源氏切 一条禅閣加筆アリ

記録切 反古ウラ半切 日記筆記也

浄弁(—律師 六九)

四半切 泥画紙 歌一行書 古今集

卷物切 松花集

白短冊 浄弁慶運白短冊紙ノ上下ニ白界アリ 其時代尊氏公以下十

五人一坐ノ短冊也 其中ニ頼阿ノ短冊ニハ名ナキアリ

聖武天皇(一)

唐紙胡粉地経切 墨卦墨書大字大聖武ト云 料紙白・浅黄・茶・薄

紅

同 紙色同前小字
同 紙色同前文字草
同 白紙墨卦中字

時頼(最明寺——朝臣 一三五)

巻物切 白紙墨界行書
四半切 同

白河院(五)

五色紙 蝶鳥ノ下画 文字鏹泥経
白紙 同泥画 文字墨書

仁海(——僧正 九三)

杉原紙 行書

真教(——上人 九九)

同 同上↓一遍の項参照

真備(吉備公 七八)

虫喰切 香紙墨字経 紙ニ虫喰アリ 故ニ云

親鸞(——上人 一〇六)

端之坊切 和讃 大四半
島原切 片カナ 六半
八尾切 同

せ

性空(——上人 九五)

白紙 行書
仮名文切

西行(——法師 五四)

落葉切 落葉ノ歌 三首懐紙ノ切ト云
御裳濯川切 紙杉原 自詠也

出雲切 四半 杉原紙

仮名文切 六半 後撰集

清盛(平相国——公 一三二)

紺紙経 金泥清盛公 銀泥頼盛卿 一行交リ

聖徳太子(七六)

太素切 紺紙金字一行九字 一字ツ、ニ銀泥ニテ宝塔アリ 凡豎一
尺一寸三分

漢紙切 紙アサキ白銀泥ノ宝塔一字ツ、ニアリ 墨字一行八字

經切 生紙墨字 朱ニテ一字ツ、ニ宝塔アリ

宗鑑(山崎隱士——一四七)

犬筑波集切

清範(藤原——五〇)

六半 新古今集

宗祇(——法師 一四四)

大藏色紙 竜形 豎長シ 名所歌也

聖廟↓道真

大坂切 小四半 連歌切 半紙ノヤウ也

清輔(藤原——朝臣 三八)

宗尊親王(一五)

四半切 古今集 歌二行書 上ニ書入アリ

卷物切 拾遺集 歌二行書 貫之ニ似タリ

卷物切 朗詠集

萬葉切 黄紙 歌二行書 三方ニ墨卦アリ

四半切

宗長(紫屋軒——一四六)

道元記切

善成(四辻宮——五六)

河海抄切 四半 紙杉原 カナ交リ 此外ルイナシ

尊円法親王(一五四)

宜房(万里小路殿——卿 六五)

金沢文庫切 大四半 万葉 中字行書 四方金界アリ

經切 金界白紙墨字

詠草切

そ

杉原切

相阿弥(七五)

經切 金界墨字

四半切

銚ノ記 卷物切 図アリ

尊氏(足利——公 一三七)

四半切 新古今 歌二行書 省名ノ歌書切也
經切 白紙墨字

尊良親王(一七)

卷物切 朗詠 真字

四半切 新古今 歌二行書

た

大燈国師(二〇九)

孝經切 白紙真字 朱点アリ

道德經切 黄紙同上

卷物切 真字白紙墨卦 詩也

ち

智証大師 (八六)

濃香色墨字経 紙ノウラニ細カナル墨点アリ シノフスリ如シ

ラサ地ト云

薄香色墨字経 草書細字

忠家(御子左—卿 三九)

歌合卷物切 墨卦アリ 歌二行書

同

中将姫(一一八)

黄紙墨字経

中正(—藏主 一一三)

経切 金界墨字

忠度(薩摩守— 一三九)

中四半 ウス香色砂子紙チラシ 家集也

忠道(つとむ)(法性寺関白—公 二〇)

卷物切 唐紙 焼唐紙・綾地

往来物

文切

長親(明魏法師 七二)

卷物切 界引アリ 歌二行書

長明(鴨— 七二)

六半 方丈記 有名ノ本切

千代能(一二三)

同↓政子の項参照

つ

通親(久我殿——卿 四五)

六半 歌合 紙ノヨコ長シ

四半 千載集

て

定家(京極黄門——卿 四二)

小倉色紙 漢紙砂子・泥画・白杉原紙色々カハリアリ 寸法モ少シ

ツ、異アリ 作者ノ名ハナシ 歌ハ四行マメカナニ書ス

後撰切 四半

八条殿切 四半 新勅撰 歌二行書

本能寺切 卷物 千五百番歌合 歌二行二書 比本文後鳥羽院・家

隆卿・慈鎮・為家卿各筆也 判詞自筆

大記録

小記録

経切 墨卦朱点墨字

画記録

僻案抄切 雲紙四半

長恨歌切 四半 豎短シ

奥入切 大六半 真名カナ交リ 土佐日記トモ云

三首切 六半

五首切 六半

四半切 唐紙地 万葉

文

類違切 六半 歌仙集

大四半 新古今 歌二行書 出来カハリ

四半 千載 歌二行書

定實(世尊寺殿——卿 五八)

卷物切 鳥ノ子紙キラ、地 マナカナ交リ

定頼(権中納言——卿 三四)

中四半 漢砂子飛雲 後拾遺集

同 古今集

鉄翁国師(一一二)

楞嚴切 四半切 真字細注朱点

語録切 同

伝教大師 (八三)

焼切 香紙墨字経

と

道家(光明峯寺殿——公 二三)

縁起巻物切

奈良切 香色紙 真書墨字経

百八字経

巻物切

詩文切 絹地 綾地

四半切 飛雲青紫漢砂子

道元 (——禪師 九七)

巻物切 カナ交リキラ地紙 摩訶釈ノ切墨卦

登蓮 (——法師 一〇二)

香色経 墨字

道真 (聖廟 七九)

式ノ切 白紙墨香朱点アリ 法会ノ式文也

紫地金字経

讃岐切 白紙墨字 細字墨界アリ

頼阿 (——法師 六八)

草庵集切 四半 歌二行書

中国切 四半 新古今

紹智切 四半 玉葉

巻物切 続千載 二行書

道長(御堂関白——公 一九)

巻物切 紙杉原 中字行草交

二位尼將軍↓政子

道風(小野——朝臣 二八)

本阿弥切 六半唐紙地・浅黄・白・古今集

半首切 色紙二枚 或ハ一枚半次合セ 歌一首チラシ書 紙ノ色ニ

五色アリ 歌カルタ二枚ヲ横次ニシタル大サ也

日親 (——上人 一〇八)

聖教切

紺紙金字経

日蓮 (——上人 一〇七)

文切
聖教切

の

能阿弥(七四)

連歌切 雲紙

は

八条女院(二二〇)

仮名文切

花園院(一三)

文 真名・仮名

ふ

伏見院(一一)

雲紙巻物切 後撰集

詩歌

経切

文寛 (——上人 九六)

仮名文切

ほ

邦看親王(二六)

巻物切 朗詠

法然 (——上人 一〇〇)

六半切 称名 博士ヲ付タリ

流名号 白地墨書

巻物切 墨字

坊門局(二二五)

六半切 砂子地 定家卿加筆也

四半切 片カナニテ歌有リ

経切 白紙墨書

巻物切 統後撰

ま

政子 (二位尼將軍 一一三)

仮名文

み

民部卿局(二二六)

四半切 後撰 細字也

む

夢窓国師(一一〇)

色紙 草書金銀砂子

巻物切 行書

め

明雲(——僧正 一〇五)

経切 鼠色紙墨書

文切

明魏法師↓長親

明恵(——上人 一一四)

夢記切 反古ノウラ 草書

巻物切 白紙

ゆ

有家(藤原——卿 四六)

小四半 紙墨流シ銀砂子 歌二行書 新古今

六半 後撰集

ら

頼辰(九二)

香紙 中字

頼盛(池大納言——卿 一三三)

紺紙金字経

頼政(源三位——卿 一三四)

三井寺切 六半 家集 杉原紙

平等院切 雲紙 朗詠集 巻物

小四半 宿紙 聖教 行草交り

頼朝(大將軍——卿 一二九)

仮名文

り

理源大師(八八)

自記之切 紙黄鳥ノ子 中字墨字 梵字入タルモアリ

良基(二条殿——公二四)

巻物切 雲紙上下金界 詩真字歌二行書

良經（後京極——公 二二二）

興福寺切 紙砂子切箔アリ 仮名アリ 興福寺ノ縁起也

折経切 四方ニ金界アリ カナ交リ

四半切 堀川百首

同 雲紙歌二行書

常知切 朗詠

了俊（今川 一四〇）

源氏巻物切 紙杉原 中字朱点アリ

れ

鎌足（大職冠——公 七七）

赤紙金字経 紙ノ上下ニ金泥ニテ雲竜草花アリ

白紙金字経 同上

同 墨字経 金卦大字中字 字体金字ト大ニ異也

第二部 切名称索引

あ

愛宕切 為相

熱田切 兼好

出雲切 西行

因幡切 為氏

犬筑波集切 宗鑑

薄香色墨字経 智証大師

太秦切 聖徳太子

鶉切 頭輔

歌合切 慶雲

歌合巻物切 忠家

歌合巻物切 忠家

(詠草ノ切) 家良

詠草切 慈鎮

詠草切 尊円法親王

画記録 定家

越前切 定家

越前切 兼好

(江戸切) 兼好

右衛門切 寂蓮

縁起切 伊房

縁起切 行尹

縁起切 行能

縁起巻物切 兼実

縁起巻物切 道家

(エンギ切) 一遍

御家切 俊成

往来物 忠道

大蔵色紙 宗祇

大坂切 寂蓮

大坂切 宗祇

大色紙 公任

大色紙 俊頼

(大聖武) 聖武天皇

大四半 定家

大津切 為相

大六半 家隆

大六半 寂蓮

興風集切 貫之

奥入切 定家

小倉色紙 定家

落葉切 西行

折経切 良経

尾張切 為氏

か

懷紙 後鳥羽院

河海抄切 善成

鏝ノ記 相阿弥

(歌書切) 公任

歌仙画賛 俊成

金沢文庫切 尊円法親王

仮名文 一休

仮名文 後鳥羽院

仮名文切 西行

仮名文切 性空

仮名文 千代能

仮名文切 八条女院

仮名文切 文覚

仮名文 政子

仮名文 頼朝

漢紙切 聖徳太子

漢紙地 小大君

漢紙地 小大君

唐紙胡粉地経切 聖武天皇

唐紙胡粉地経切 聖武天皇

唐紙胡粉地経切 聖武天皇

唐紙胡粉地経切 聖武天皇

(烏丸殿切) 慈鎮

北野切 為家

久安切 俊成

久巴切 為世

経切 伊経

経切 兼行

経切 兼実

経切 行成

経切 公任

経切 行能

経切 小大君

経切 後鳥羽院

経切 俊成

經切 俊賴

經切 聖德太子

經切 宣房

經切 尊円法親王

經切 尊氏

經切 中正

經切 定家

經切 伏見院

經切 坊門局

經切 明雲

記錄切 教家

記錄切 後醍醐天皇

記錄切 後鳥羽院

記錄切 肖柏

雲紙 龜山院

雲紙砂子切 貫之

雲紙卷物切 伏見院

源氏切 肖柏

源氏卷物切 了俊

(建仁寺切) 顯昭

建仁寺切 常縁

鯉之下絵 阿仏

香色紙 後白河院

孝經切 大燈国師

香紙 俊仍

香紙 頼辰

香紙經切 重源

香紙經 登蓮

香紙墨字經 魚養

黄紙墨字經 篁

香紙墨字經 興教大師

黄紙墨字經 行子

香紙墨字經 慈覚大師

黄紙墨字經 中将姫

興福寺切 良経

高野切 貫之

高野切 弘法大師

濃香色墨字經 智証大師

古今切 貫之

五色紙 白河院

小四半 家長

小四半 寂然

小四半 有家

小四半 頼政

五首切 定家

後撰切 定家

曆切 為明

(コロ切) 弘法大師

語録切 鉄翁国師

紺地 光明皇后

紺紙経 清盛

紺紙金字 嵯峨天皇

紺紙金字経 慈惠大師

紺紙金字経 道風

紺紙金字経 頼盛

さ

讚岐切 道真

三首切 定家

(三首懷紙ノ切) 西行

詩歌 伏見院

自詠四半切 肖柏

自詠卷物切 実兼

色紙 一休

色紙 龜山院

色紙 義政

色紙 兼良

色紙 行成

色紙 公任

色紙 実朝

色紙 夢窓国師

色紙歌仙絵 後鳥羽院

式ノ切 道真

自記之切 理源大師

紫地金字経 道真

紫地金字 嵯峨天皇

(四半切) 阿仏

四半切 阿仏

四半切 寛猷

四半 雅経

四半切 徽安門院

四半切 義貞

四半切 暁円

四半 顯輔

四半切 行尹

四半 光俊

四半切 行成

四半切 行尊
四半切 公任
(四半切) 小大君
四半切 後醍醐天皇
四半切 後鳥羽院
四半切 佐理
四半 慈鎮
四半 寂然
四半 秀能
四半切 俊寬
四半 俊成
四半切 俊成卿女
四半切 俊忠
四半 俊頼
四半 俊頼
四半 俊頼
四半切 淨弁
四半切 時頼
四半切 清輔
四半切 清輔
四半切 清輔
四半切 尊円法親王
四半切 尊氏

四半切 尊良親王
四半 通親
四半 定家
四半切 定家
(四半切) 鉄翁
四半切 道風
四半切 坊門局
四半切 民部卿局
四半切 良経
四半切 良経
詩文切 道風
詩文卷物切 行成
島原切 親鸞
宿紙 恵心
小記録 定家
(聖教ノ切) 恵心
聖教切 日親
聖教切 日蓮
紹智切 頼阿
常知切 良経
(省名ノ歌書切) 尊氏
白短冊 淨弁

杉原切 尊円法親王

杉原紙 花山院

杉原紙 覚明

杉原紙 凝然

杉原紙 重源

杉原紙 仁海

筋切 佐理

雀ノ下絵 公任

砂子紙 後日河院

砂子地紙 光明皇后

須磨切 一休

住吉切 俊成

寸松庵色紙 貫之

赤紙金字経 鎌足

草庵集切 頓阿

た

大記録 定家

炭田切 覚性法親王

タハコト切 兼好

(粽切) 光俊

中国切 頓阿

中色紙 慈鎮

中色紙 俊頼

中四半 教家

中四半 雅経

中四半 忠度

中四半 定頼

中四半 定頼

嘲哢集切 常縁

長恨歌切 定家

貫之集切 慈鎮

亭子院歌合切 貫之

道元記切 宗長

東寺切 弘法大師

東大寺切 俊頼

道德経切 大燈国師

道也切 為重

通シ切 佐理

外山切 為家

鳥之下絵 光明皇后

な

中院切 家隆

流名号 法然
奈良切 道風

は

箔切 為家

白紙 後白河院

白紙 白河院

白紙 俊仍

白紙 性空

白紙金字経 鎌足

白紙墨字 後嵯峨院

白紙墨字経 鎌足

端之坊切 親鸞

端白切 行成

八条殿切 定家

(ハリ切) 一休

針切 行成

半首切 道風

日野切 俊成

姫路切 為家

百八字経 道風

平等院切 頼政

仏光寺切 堯孝
補任切 俊成

文 義経

文 実朝

文 定家

文切 忠道

文切 日蓮

文切 明雲

文 後深草院

文 花園院

文 護良親王

僻案抄切 定家
(反古ウラ半切) 肖柏

本阿弥切 道風

本能寺切 定家

ま

摩訶釈ノ切 道元

巻物切 為家

巻物切 伊経

巻物切 伊経

巻物切 伊行

卷物切	俊忠	卷物切	寂蓮	卷物切	慈鎮	卷物切	師賢	卷物切	師賢	卷物切	佐理	卷物切	後二条院	(卷物切)	弘法大師	卷物切	行能	卷物切	行尹	卷物切	玄惠	卷物切	慶雲	卷物切	慶雲	卷物切	慶雲	卷物切	義政	卷物切	基俊	卷物切	家良	(卷物切)	家隆	卷物切	龜山院	卷物切	龜山院	卷物切	家長	卷物切	雅經	卷物切	一遍
-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	------	-------	------	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-------	----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	----	-----	----

卷物切	明恵	卷物切	夢窓国師	卷物切	坊門局	卷物切	法然	卷物切	邦看親王	卷物切	頓阿	卷物切	道風	卷物切	道長	卷物切	道元	卷物切	定貢	卷物切	長親	卷物切	忠道	卷物切	大燈国師	卷物切	尊良親王	卷物切	宗尊親王	(卷物切)	相阿弥	卷物切	清輔	卷物切	真教	卷物切	時頼	卷物切	浄弁	卷物切	俊頼	卷物切	俊頼
-----	----	-----	------	-----	-----	-----	----	-----	------	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	------	-----	------	-----	------	-------	-----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----

巻物切 良基

巻物半切 慈眼大師

升底切 家隆

真名切 兼行

萬葉切 伊行

萬葉切 解脫

萬葉切 行成

萬葉切 公任

萬葉切 公任

萬葉切 順

萬葉切 宗尊親王

三井寺切 頼政

御裳溜川切 西行

虫喰切 真備

藻ノ下画 基俊

や

八尾切 親鸞

焼切 伝教大師

祐海切 家隆

(有名ノ本切) 長明

夢記切 明恵

吉野切 後醍醐天皇

寄紙 公任

ら

龍形切 光俊

楞嚴切 鉄翁国師

了佐切 俊成

類違切 定家

連歌切 能阿弥

聯芳集切 一休

朗詠切 家隆

朗詠集切 公任

六半 兼実

六半 顕昭

六半 顕昭

六半 光俊

六半 後二条院

六半 慈鎮

六半 清範

六半 長明

六半 通親

六半 有家

六半切 法然

六半切 坊門局

六半切 志

六半切 西定六路

六半切 掛

9

六半切 公

第三部 書名・事項索引

< i > 書名

伊勢物語

伊勢物語 兼好

犬筑波集

(犬筑波集) 宗鑑

歌合 歌合 為家

歌合 龜山院

(亭子院歌合) 貫之

(歌合) 慶雲

歌合 寂蓮

歌合 俊忠

(歌合) 忠家

歌合 通親

千五百番歌合 定家

縁起

(縁起) 伊房

縁起 家長

(縁起) 兼実

(縁起) 行形

(縁起) 行能

縁起 俊頼

(縁起) 道家

興福寺ノ縁起 良経

興風集

(興風集) 貫之

河海抄

(河海抄) 善成

家集

家集 常縁

家集 忠度

歌仙集 定家
家集 頼政

玉葉集

玉葉集 徽安門院

玉葉集 後二条院

玉葉 頼阿

金葉集

金葉集 家隆

源氏物語

源氏 為氏

源氏詞書 一休

源氏系図注 顯昭

源氏ノ歌 師賢

源氏ノ歌 慈鎮

(源氏) 肖柏

(源氏) 了俊

(奥入) 定家

古今集

古今 為家

古今集 為氏

古今集 為世

古今集 為相

古今集 雅經

古今集 家隆

(古今) 貫之

古今 兼好

古今集 顯輔

古今集 行政

古今集 行政

古今集 行政

古今歌 小大君

古今集 佐理

古今集 寂蓮

古今集 俊寛

古今 俊成

古今 俊成卿女

古今集 秀能

古今 俊成

古今集 俊頼

古今集 浄弁

古今集 清輔

古今集 定頼

古今集 道風

後拾遺集

後拾遺 寂然

後拾遺集 定頼

後撰集

後撰集 西行

(後撰) 定家

後撰集 伏見院

後撰 民部卿局

後撰集 有家

拾遺集

拾遺 常縁

拾遺集 宗尊親王

松花集

松花集 浄弁

統後拾遺

統後拾遺 師賢

統後撰集

統後撰 坊門局

統千載集

統千載 頼阿

新古今集

新古今 為重

新古今集 家隆

新古今集 後鳥羽院

新古今集 後鳥羽院

新古今集 清範

新古今 尊氏

新古今 尊良親王

新古今 定家

新古今 頼阿

新古今 有家

新統古今集

新統古今 堯孝

新撰朗詠集

新撰朗詠 基俊

新勅撰集

新勅撰 行尹

新勅撰 定家

千載集

千載集 家隆

千載集 俊成

千載集 通親

千載 定家

草庵集

(草庵集) 頓阿

長恨歌

(長恨歌) 定家

嘲哢集

(嘲哢集) 常縁

貫之集

(貫之集) 慈鎮

土佐日記

土佐日記 定家

百首自詠

百首自詠 家良

僻案抄

(僻案抄) 定家

方丈記

方丈記 長明

堀川百首

堀川百首 良経

万葉集

万葉 伊経

(万葉) 伊行

(万葉) 解脱

(万葉) 行成

(万葉) 公任

(万葉) 順

万葉 俊頼

(万葉) 宗尊親王

万葉 尊円法親王

万葉 定家

名所歌

名所ノ歌 肖柏

名所歌 宗祇

八雲御抄

八雲御抄 後二条院

夢記

(夢記) 明恵

連歌

連歌 宗祇

(連歌) 能阿弥

聯芳集

聯芳集 一休

和漢朗詠集

朗詠 伊経

朗詠 雅経

朗詠 家長

(朗詠) 家隆

朗詠集 義政

朗詠集 基俊

朗詠 慶雲

(朗詠集) 公任

朗詠 行能

朗詠 寂蓮

朗詠集 清輔

朗詠 尊良親王

朗詠 邦看親王

朗詠集 頼政

朗詠 良経

その他

(詠草) 慈鎮

落葉ノ歌 西行

(懷紙) 後鳥羽院

(鏑ノ記) 相阿弥

歌書 公任

(歌仙繪) 後鳥羽院

(歌仙画贊) 俊成

カナ文 花山院

願文 後嵯峨院

行法次第 慈眼大師

(記録) 教家

(記録) 後醍醐天皇

(記録) 後鳥羽院

(記録) 肖相

(記録) 定家

恋歌 後醍醐天皇

(孝経) 大燈国師

(語録) 鉄翁

詩 大燈国師

詩 良基

詩歌 雅経

(詩歌) 伏見院

自詠 西行

(自詠) 肖柏

(自詠) 実兼

(式) 道真

(詩文) 行成

(詩文) 道風

春画ノ詞書 兼好

称名 法然

道元記 宗長

道德経 大燈国師

日記 肖柏

(百八字経) 道風

(補任) 俊成

法会ノ式文 道真

法語 慈鎮

法事役人付 重源

摩訶釈 道元

暦日 教家

和讃 親鸞

< ii > 料紙

綾地

綾地 忠道

綾地 道風

色紙

藍 伊行

アサギ色紙 公任

浅黄胡粉地 行成

柿色紙 行成

香色紙 公任

香色紙 光明皇后

黄色 宗尊親王

五色紙 行成

五色ノ紙 公任

紙五色 佐理

胡粉地 公任

鼠色紙 明雲

ミル茶 伊行

唐紙

カラ紙 寂蓮

カラ紙 俊頼

漢紙 公任

唐紙 忠道

唐紙地 伊経

唐紙地 貫之

唐紙地 定家

唐紙地 道風

カラ紙胡粉地 俊頼

漢紙砂子 伊房

漢字砂子 定家

唐紙竜形 龜山院

白カラ紙 俊頼

白カラ紙キラ地 俊頼

白唐紙 俊頼

布目唐紙 小大君

焼唐紙 伊行

焼唐紙 為氏

焼唐紙 佐理

焼唐紙 忠道

絹地

絹地 佐理

絹地 道風

雲母地

キラ地 教家

キラ地紙 道元

キラ、地 後鳥羽院

キラ、地白紙 貫之

鳥ノ子紙キラ、地 定貫

白カラ紙キラ地↓唐紙の項参照

雲紙

雲紙 為家

雲紙 為世

雲紙 為相

雲紙 一休

雲紙泥画↓下絵の項参照

雲紙 慶雲

雲紙 兼好

雲紙 行尹

雲紙 行成

砂子下絵雲紙↓下絵の項参照

雲紙 常縁

雲紙 定家

雲紙 能阿弥

雲紙 頼政

雲紙 良基

雲紙 良経

更紗地

サラサ地 伊経

サラサ地 智証大師

下絵

金銀泥画砂子 亀山院

雲ノ下画 義政

雲紙泥画 義政

泥画砂子アリ 兼実

草花下画 兼実

天人雲泥画 兼行

人形草木 顕輔

粟ニウツラノ画 顕輔

鳥虫草水藻ノ下画 公任

砂子下画雲紙 行能

小鳥小草泥画 光明皇后

砂子下絵 寂蓮

泥画鳥草アリ 順

村雲金銀泥画 俊成

泥画紙 淨弁

蝶鳥ノ下絵 白河院

竜形 宗祇

泥画 定家

紙ノ上下ニ金泥ニテ雲竜草花アリ 鎌足

砂子・切箔・飛雲

砂子 公任

砂子 行尹

砂子 慶雲

砂子紙 家長

砂子紙 寂蓮

砂子紙 寂然

砂子地 坊門局

ウス香色砂子紙 忠度

唐砂子 俊仍

漢砂子 俊頼

漢砂子地 行成

漢砂子飛雲 定頼

金銀砂子 夢窓国師

銀砂子 有家

銀砂子 公任

銀砂子 為家

銀砂子地 基俊

砂子切箔アリ 良経

砂子村雲金箔紙 慈鎮

飛雲漢砂子 佐理

飛雲青紫漢砂子 道風

金ギン切箔 為家

金ギン村雲形 為家

飛雲 伊行

砂子下絵↓下絵の項参照

砂子下画雲紙↓下絵の項参照

漢紙砂子↓漢紙の項参照

漢紙砂子↓唐紙の項参照

金銀泥画砂子↓下絵の項参照

墨流

墨流シ 有家

<iii> 界線

金界

金界 兼実

金界 行形

金ノ卦引 光明皇后

金泥界 光明皇后

金界 宣房

四方金界 尊円法親王

金界 中正

上下金界 良基

四方二金界 良経

金卦 鎌足

墨界

四方墨卦紙 雅経

四方墨卦 寂蓮

三方二墨卦 宗尊親王

白界など

白界四方 暁円

上下二白界 浄弁

十文字二界アリ 佐理

<iv> その他

弘法大師加筆 嵯峨天皇

定家卿加筆 行成 俊成 寂然 坊門局

一条禅閣加筆 肖柏

五合升ノ大サ 家隆

文字ノ上ニ朱ニテ手ノ形 後嵯峨院

朱印 兼良

博士ヲ付タリ 法然

永正年中密宗ノ僧奥書 義貞